

脈々 高蔵^{スピリッツ} 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

再び「慈・忠・忍」

「慈・忠・忍」の三徳目を校訓三則として掲げ、これを刻して校章とする。

「慈」とはいつくしみ憐れむ心、ひとに与える無償の愛である。

「忠」とは真っ直ぐに貫く心、ひとに應える愛である。

「忍」とは堪え忍ぶゆるぎない心、自らを慎む愛である。

「親恩感謝の一念」発起すれば始めて茲^{こゝ}に人らしき人を生じ、其の一念の深きに従い品性に尊貴を増し、人格に偉大を加ふるものがあります。

(「藪椿」12-1)